

在宅医療多職種研修会のモデル地域養成検討会

②地域単位の研修会開催例の紹介

東京大学高齢社会総合研究機構

飯島勝矢

本セッションの内容

郡市医師会と市町村行政が行う研修会の一例として「在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会」の特徴を説明(20分)

1. 構造的特徴
2. 内容の特徴(1.5日の多職種連携研修会)
3. 内容の特徴(1.0日の実地研修)
4. 研修運営ガイドについて
5. 研修HP上からの資料入手方法

1. 構造的特徴



在宅医療推進多職種連携研修会
かかりつけ医の動機づけ・多職種チームビルディングの促進

<http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/>

2. 内容の特徴（多職種連携研修会）

1日目

- 午後半日で開催
- 内容

- 在宅医療が必要とされる背景（講義）
- 地域資源マッピング（GW）
- 領域別セッション（講義・GW）
- 懇親会



多職種によるGW

実習

（医師のみ）

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
- 訪問診療同行
- 訪問看護同行
- ケアマネジャー同行
- 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

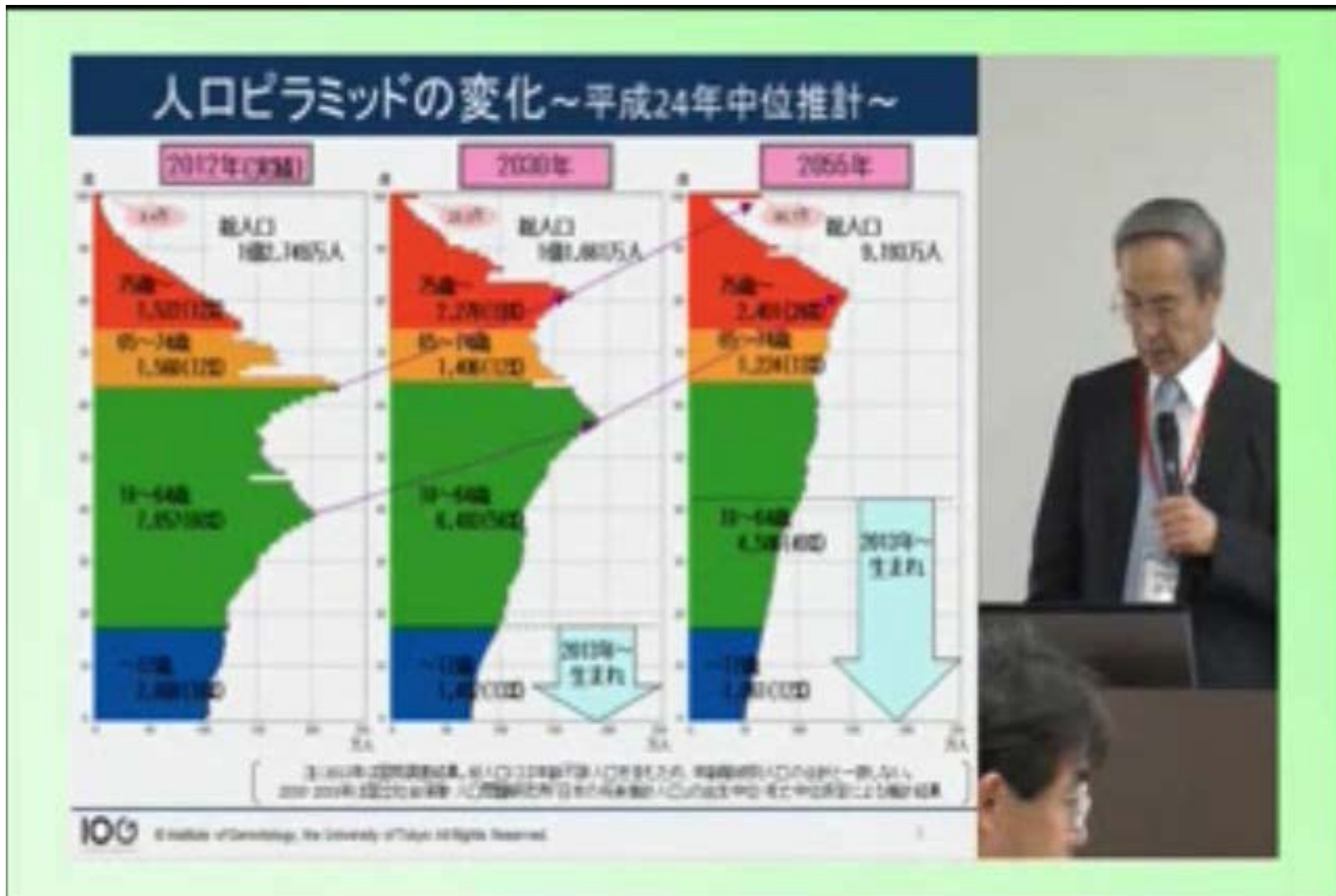
（1日目の1～1.5ヶ月後）

- 終日開催
- 内容
- 在宅医療の導入（講義）
- 領域別セッション（講義・GW）
- 多職種連携協働：IPW（講義）
- 在宅医療推進の課題とその解決策（GW）
- 制度・報酬（講義）
- 修了証書授与



受講者一同による集合写真

在宅医療が必要とされる背景(講義)



(映像:2分29秒)

2. 内容的特徴(多職種連携研修会)

1日目

- 午後半日で開催
- 内容
 - 在宅医療が必要とされる背景(講義)
 - **地域資源マッピング(GW)**
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 懇親会



多職種によるGW

実習

(医師のみ)

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
 - 訪問診療同行
 - 訪問看護同行
 - ケアマネジャー同行
 - 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

(1日目の1~1.5ヶ月後)

- 終日開催
- 内容
 - 在宅医療の導入(講義)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 多職種連携協働:IPW(講義)
 - 在宅医療推進の課題とその解決策(GW)
 - 制度・報酬(講義)
 - 修了証書授与



受講者一同による集合写真

地域資源マッピング(GW)



2. 内容的特徴(多職種連携研修会)

1日目

- 午後半日で開催
- 内容
 - 在宅医療が必要とされる背景(講義)
 - 地域資源マッピング(GW)
 - **領域別セッション(講義・GW)**
 - 懇親会



多職種によるGW

実習

(医師のみ)

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
 - 訪問診療同行
 - 訪問看護同行
 - ケアマネジャー同行
 - 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

(1日目の1~1.5ヶ月後)

- 終日開催
- 内容
 - 在宅医療の導入(講義)
 - **領域別セッション(講義・GW)**
 - 多職種連携協働:IPW(講義)
 - 在宅医療推進の課題とその解決策(GW)
 - 制度・報酬(講義)
 - 修了証書授与



受講者一同による集合写真

領域別セッション(講義・GW)

オピオイド増量にあたっての原則

- 非オピオイド鎮痛薬が適切に投与されていることを確認する
- 2～7日ごとに30%程度ずつ増量する
 - 体格が小さい・高齢者・全身状態が不良である場合が多いため
- 調整中は毎日電話で状況を確認する



2. 内容的特徴(多職種連携研修会)

1日目

- 午後半日で開催
- 内容
 - 在宅医療が必要とされる背景(講義)
 - 地域資源マッピング(GW)
 - 領域別セッション(講義・GW)

- 懇親会**



多職種によるGW

実習 (医師のみ)

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
 - 訪問診療同行
 - 訪問看護同行
 - ケアマネジャー同行
 - 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

(1日目の1~1.5ヶ月後)

- 終日開催
- 内容
 - 在宅医療の導入(講義)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 多職種連携協働:IPW(講義)
 - 在宅医療推進の課題とその解決策(GW)
 - 制度・報酬(講義)
 - 修了証書授与



受講者一同による集合写真

懇談会

職種を越えた懇談会(ないしそれに準ずる交流の場)を意図的に設定



2. 内容的特徴(多職種連携研修会)

1日目

- 午後半日で開催
- 内容
 - 在宅医療が必要とされる背景(講義)
 - 地域資源マッピング(GW)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 懇親会



多職種によるGW

実習

(医師のみ)

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
 - 訪問診療同行
 - 訪問看護同行
 - ケアマネジャー同行
 - 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

(1日目の1~1.5ヶ月後)

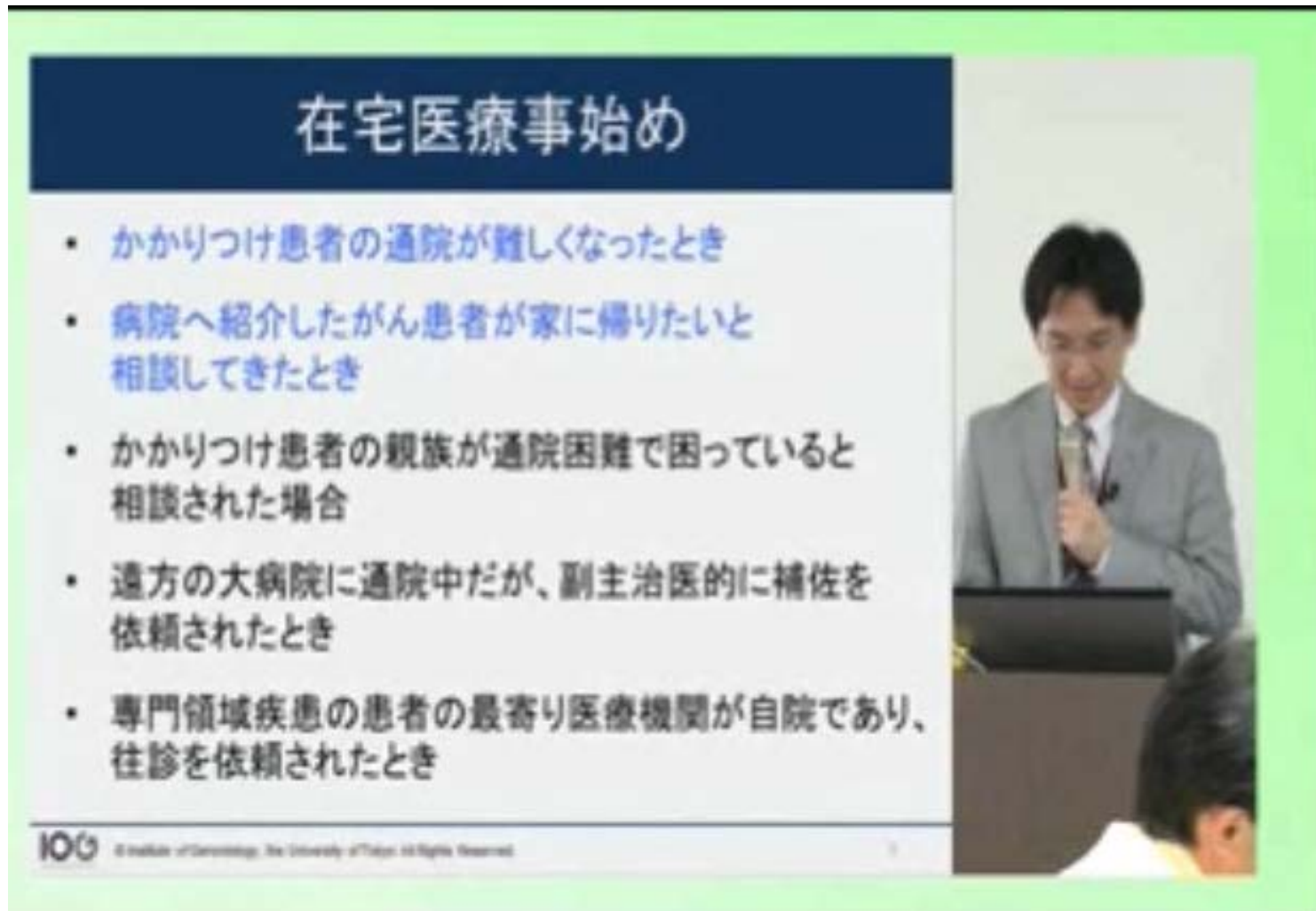
- 終日開催
- 内容
 - **在宅医療の導入(講義)**
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 多職種連携協働:IPW(講義)
 - 在宅医療推進の課題とその解決策(GW)
 - **制度・報酬(講義)**
 - 修了証書授与



受講者一同による集合写真

講義


(在宅医療の導入～報酬・制度～修了者が語る在宅医療の実際)



在宅医療事始め

- かかりつけ患者の通院が難しくなったとき
- 病院へ紹介したが患者が家に帰りたいと相談してきたとき
- かかりつけ患者の親族が通院困難で困っていると相談された場合
- 遠方の大病院に通院中だが、副主治医的に補佐を依頼されたとき
- 専門領域疾患の患者の最寄り医療機関が自院であり、往診を依頼されたとき

IOG © Institute of Gerontology, the University of Tokyo All Rights Reserved.



(映像: 1分42秒)

2. 内容的特徴(多職種連携研修会)

1日目

- 午後半日で開催
- 内容
 - 在宅医療が必要とされる背景(講義)
 - 地域資源マッピング(GW)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 懇親会



多職種によるGW

実習

(医師のみ)

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
 - 訪問診療同行
 - 訪問看護同行
 - ケアマネジャー同行
 - 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

(1日目の1~1.5ヶ月後)

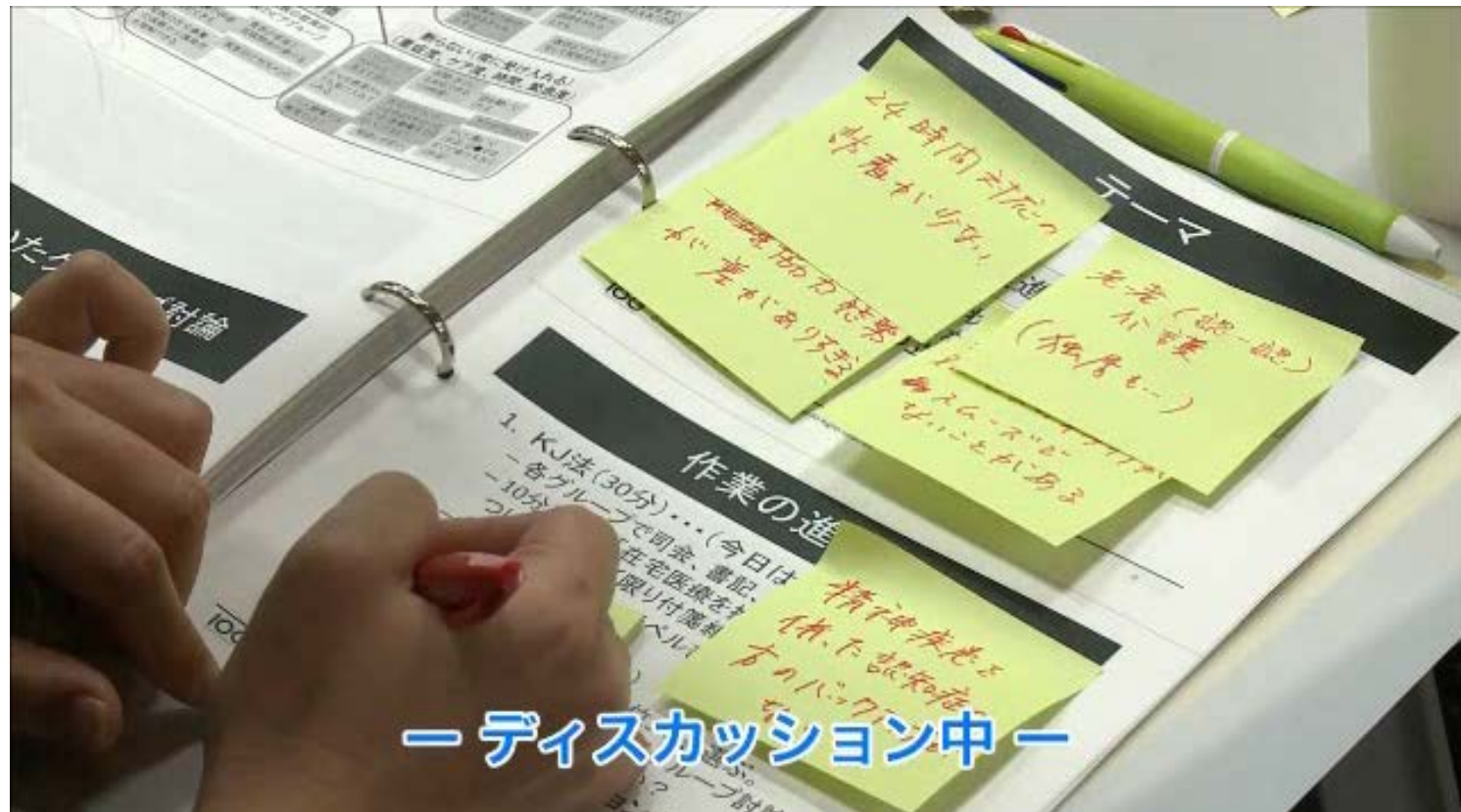
- 終日開催
- 内容
 - 在宅医療の導入(講義)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 多職種連携協働:IPW(講義)
 - 在宅医療推進の課題とその解決策(GW)
 - 制度・報酬(講義)
 - 修了証書授与



受講者一同による集合写真

在宅医療推進の課題とその解決策(GW)

テーマ：在宅医療の推進における課題



(映像:0分41秒)

2. 内容的特徴(多職種連携研修会)

1日目

- 午後半日で開催
- 内容
 - 在宅医療が必要とされる背景(講義)
 - 地域資源マッピング(GW)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 懇親会



多職種によるGW

実習

(医師のみ)

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
 - 訪問診療同行
 - 訪問看護同行
 - ケアマネジャー同行
 - 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

(1日目の1~1.5ヶ月後)

- 終日開催
- 内容
 - 在宅医療の導入(講義)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 多職種連携協働:IPW(講義)
 - 在宅医療推進の課題とその解決策(GW)
 - 制度・報酬(講義)
 - 目標発表**
 - 修了証書授与



受講者一同による集合写真

目標発表



3. 内容的特徴(実地研修)

1日目

- 午後半日で開催
- 内容
 - 在宅医療が必要とされる背景(講義)
 - 地域資源マッピング(GW)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 懇親会



多職種によるGW

実習 (医師のみ)

- 3時間×2回
- 以下のメニューから選択
 - 訪問診療同行
 - 訪問看護同行
 - ケアマネジャー同行
 - 緩和ケア病棟回診



訪問診療同行

2日目

(1日目の1~1.5ヶ月後)

- 終日開催
- 内容
 - 在宅医療の導入(講義)
 - 領域別セッション(講義・GW)
 - 多職種連携協働:IPW(講義)
 - 在宅医療推進の課題とその解決策(GW)
 - 制度・報酬(講義)
 - 修了証書授与



受講者一同による集合写真

在宅同行研修



研修運営ガイドについて

在宅医療推進のための
地域における多職種連携研修会
研修運営ガイド

国立長寿医療研究センター
東京大学高齢社会総合研究機構
公益社団法人 日本医師会
厚生労働省

平成 25 年 12 月

- 本運営ガイドは、市町村行政と都市医師会が並立して研修会の主催者兼運営事務局となる場合を想定し、作成しています。
- 地域状況によっては、市町村行政が主催者となって医師会は共催者となる場合や、逆に医師会が主催者となって市町村行政が共催者となる場合なども想定されます。
- 研修会事務担当者についても、市町村担当者が担う場合以外に、都市医師会事務局スタッフ、各都道府県の在宅医療推進事業（平成 24 年度補正予算地域医療再生交付金）を実施する診療所等スタッフが担うことも想定されます。

- 研修運営のノウハウを収載
（開催までの流れを時系列で記載）
- 国立長寿医療研修センター、日本医師会、厚生労働省、東京大学高齢社会総合研究機構の共同名義
- 詳細は別紙配布資料をご参照ください

【その他研修に関するお問い合わせ先】
東京大学高齢社会総合研究機構
在宅医療研修事務局
MAIL: homecare_info@iog.u-tokyo.ac.jp

4. 研修HP上からの資料入手方法①

研修会HP <http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/index.html>

在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会

Q & A

お知らせ

お問合せ

トップページ

概要

資料

予定・実績

領域別セッション

主催者・講師向け



独立行政法人
国立長寿医療研究センター
在宅連携医療部
National Center for Geriatrics and Gerontology



お知らせ

- 2013年12月12日 研修運営ガイドを更新しました。
- 2013年11月29日 訪問診療・訪問看護における医療処置に関するアンケート調査 報告書を掲載しました。
- 2013年10月18日 研修運営ガイドを掲載しました。
- 2013年 3月14日 ホームページを開設しました。

開催情報

4. 研修HP上からの資料入手方法②

[Q & A](#)[お知らせ](#)[お問合せ](#)

在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会

[トップページ](#)[概要](#)[資料](#)[予定・実績](#)[領域別セッション](#)[主催者・講師向け](#)

主催者向け

[ログイン](#)[ID・password発行用フォーム](#)

主催者・講師向け

本研修会の開催をご検討いただけます場合、下記のID、password発行用フォームよりご一報をお願いいたします。主催者・講師向けコンテンツとして、講義スライド、講師用読み原稿（※）等、ご活用いただくことが可能となっています。なお、講師向けコンテンツ内に設置された開催報告フォームよりご一報をお願いいたします。

ログイン

ID・passwordをお持ちの方は以下のボタンよりログイン

[ログイン](#)

ID、password管理における注意点：

- ※1. このID、Passwordは定期的に更新を予定しております。
- ※2. 当該地域の研修会運営に必要な場合を除き、他人への提供はいたしません。ご登録されている方がおられましたら、以下のID,password発行用フォームからの登録をお勧め下さい。

ID : ***

PW: ***

※PWはホームページ上から申請の上取得してください。

研修HP上からの資料入手方法③

在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会

Q & A

お知らせ

お問合せ

トップページ

概要

資料

予定・実績

領域別セッション

主催者・講師向け

主催者向け

▷ 研修運営ガイド

▷ 研修会資料

▷ 開催報告フォーム

主催者・講師向け

本研修会を開催する際には、以下から必要書類をダウンロードしてご利用ください。

研修運営ガイド

研修運営ガイドの概要については「研修運営ガイドとは (PDF)」をご覧ください。

	全資料 (PDF 1.60MB)	研修運営ガイド+別紙一式 (14.7MB)
全資料一括ダウンロード 研修運営ガイド (PDF) と別紙一式 (Word、Excel) を一括ダウンロードできます。		

研修会企画・運営の流れ

研修HP上からの資料入手方法④

研修会資料

	資料(PDF 3.58Mb)
<p>全資料一括ダウンロード</p> <p>全資料(PDF)と全ファイル・原稿(doc.ppt)を一括ダウンロードできます。</p>	

例1: 柏第3回
研修の動画

例2: 研修会用の
PowerPointファイル

	形式	資料 (PDF)	ファイル	原稿	柏			
					第2回	第3回	第3回	
③ グループ作業：医療介護資源マップの作成	40分	演習						
④ がんの症状緩和に必要な知識	40分	講義						
⑤ 事例検討：がんの症状緩和と多職種による在宅療養支援（前半）	60分	演習	1 					